

# 続・校長室の窓から

No.1

平成 29 年 5 月 11 日

## 【続・校長室の窓から】

この4月に本校に赴任いたしました高畑尚弘です。どうぞよろしくお願いいたします。

中村勝英前校長が、昨年度まで折々の学校の諸活動を「校長室の窓から」として紹介されました。今年度も引き続き、「続・校長室の窓から」として、学校の諸活動や私の雑感等を紹介させていただきます。



### 校訓「篤志」

※玄関ホール

- 深く考え 学びつづける人となる
- 努力をつづけ たくましく生きぬく人となる
- 礼儀正しく 心豊かな いのちをいつくしむ人となる

## 【入学式】 4月6日（木）

入生 320 名に実りある高校生活を送ることを願い、入学式で期待を込めて次のような話をしました。

「人は誰でも、一生懸命に、誠実に努力していても失敗することがある。竹はしなやかなでありながら強く、そして真っ直ぐに立っているのは節があるからだ。失敗したときの挫折感、人間として強く逞しく成長する節を作るチャンスとなる。パナソニックの創業者松下幸之助氏は『失敗は、失敗のままにするから失敗になる。成功するまでやれば成功になる』と言葉を残している。できないときこそ『きっとできる』と自分を信じ、『できるまでやる』との思いを強くもって立ち向かっていくと、『きっとできる』ときが必ず来る。何度倒れたかが問題ではなく、何度立ち上がったかが大切。高校生活を通じて、しなやかな竹を強くしている節を一つでも多く作ってほしい。」

未来を担う生徒の皆さんが、自信と誇りをもって社会に貢献できる人に育つよう教え導いていきたいと考えています。



## 【始業式】 4月7日（金）

第1学年から第3学年まで全校生徒が揃い、平成 29 年度がスタートしました。年度の始めにあたり、「高い志をもつこと」とそのために「努力すること」について、次のような話をしました。

「来年2月に韓国の平昌(ピョンチャン)で冬季オリンピックが開催されます。近代オリンピックの創始者として有名なクーベルタン男爵の言葉として伝わっている『オリンピックは参加することに意義がある』は聞いたことがありますか。この言葉は、他の人が話した言葉をクーベルタンが自らの思いを伝えるために引用したとも言われています。本当に伝えたかった

言葉は、その続きの言葉です。

『オリンピックで重要なのは勝つことではなく、参加することである。そして人生で大切なことは成功することではなく、努力することである。』

身近なメジャーリーガー、イチロー選手の話です。

奥村幸治さんがイチロー選手について語った文章を見つけました。奥村さんは、オリックスに打撃投手として入団、イチローの専属打撃投手となりました。現在は、自ら結成した中学硬式野球チームを全国大会の常連チームへと導き、大リーグで活躍するヤンキースの田中将大選手を育てるなど野球指導に専念している方です。年齢は、イチロー選手の一つ上の44歳、専属打撃投手として寮の部屋も隣同士で親交が深かったようです。そんな奥村氏の指導の原点となっているイチロー選手から学んだことが、当時のエピソードとして紹介されています。

イチロー選手をつかまえて、メンタルトレーニングについてどのように考えているかと尋ねてみると、彼は一言、『メンタルを鍛える、つまり自分の心を鍛えるというのは、自分に必要なことを続ける努力をすることじゃないですか』と答えたそうです。『これまでに、これだけは絶対に誰にも負けないと胸を張って言える努力って何？』と質問を続けると、『高校の時に寮に入っていた3年間、僕は寝る前の10分間素振りをしました。そしてそれを1年365日、3年間欠かさずに続けました。それが僕の誰にも負けないと思える努力です。』

この話には後日談があって、イチロー選手の高校時代の先輩に『10分間の素振りは、やっぱり本当なのですか』と尋ねると、『10分間の素振りね、あれは最低の10分だからね。やり続けると1時間でも2時間でもやっていましたよ』と。

イチロー選手はこうも言っています。『最初から長い時間打とうとしているわけではありません。ただ自分にはその日にやらなければいけない目標があって、その目標をクリアしようと思って打ち続けると、3時間でも4時間でも集中できるんです』。

『目標がないのに練習することって意味がないでしょう』。

努力を続けることは大事、その努力を何のためにするのか、そのためには目標があること、高い志があることが大切です。

さて、3年生の皆さん、最終学年となります。運動部ではインターハイ予選など控え、最後の仕上げをしていることと思います。悔いを残すことなく全力でプレーしてください。また、1年後には大学等に進学をする、または就職する皆さんもあるでしょう。大切なことは『できるまでやる』ことです。皆さんには高い能力が備わっています。『きっとできる』と自分を信じて願いを喜びに変えてください。

2年生の皆さん、皆さんの勢いが学校の勢い、元気となって表れます。学習、部活動とも一杯努力してください。

1年生の皆さん、新しい環境で戸惑うことが多いことと思います。スタート、この一学期がとても大切です。中学生の生活とは決別して、授業の予習、復習など教科担任の先生の指示に従って真摯に努力してください。」

